



幼稚園だより

令和4年度
6月号

「イメージ豊かに遊びを創り出す幼児の育成」 ～ごっこ遊びを楽しむ姿を通して～

令和4年5月31日
文京区立湯島幼稚園
副園長 澤田 亮

緑豊かな木々の下、子どもたちの元気な声が聞こえています。今年度、湯島幼稚園の副園長として着任しました、澤田亮（さわだりょう）です。

さて、湯島幼稚園では、今年度「イメージ豊かに遊びを創り出す幼児の育成」～ごっこ遊びを楽しむ姿を通して～をテーマとして、園内研究を進めています。子どもたちが日頃楽しんでいる“ごっこ遊び”に着目して、子どもたちがより豊かなイメージをもって遊びを創り出し、楽しさを味わえるように、教師の援助や環境の工夫を探っていきたいと考えています。

もも組では、おうちごっこや病院ごっこを楽しんでいます。Aさんが「先生、熱はありますか？」と聞きました。担任の先生は「そういえば熱がありそうです」と言うと「熱を計るので寝てください」と言い、おもちゃの体温計を出しました。先生が床に横になると、次々と小さなお医者さんたちが集まってきて、先生の熱を計り始め、先生の姿が子どもたちで見えなくなりました。別の場所では、先生が首に布を巻いて、数人の子どもたちにおもちゃのハサミで髪を切る美容院ごっこをしていました。年少もも組では、先生との関係の中でなりたいたいものになりきったり見立てたりして遊びを楽しんでいました。

ばら組では、電車ごっこを楽しんでいます。画用紙で作った帽子を被り、気分は駅員さんです。中型積み木で改札を作り、手作りの改札ドアやICカードリーダーを置き、「ピッ、ピッ」と何度も改札を通して楽しんでいます。そこに、近くでおうちごっこをしていた友達2人が「電車に乗りたいですけど」と来ました。駅員さんたちは「いいですよ」「どこに行きますか？」とICカードを渡しました。その後2人を乗せて「新大阪まで出発しまーす！」と得意げに言い、電車で旅立っていきました。年中ばら組では、友達と1つの場に集い、ゆるやかなイメージでつながりを感じ、一緒に遊ぶ楽しさを感じていました。

ゆり組では、ホールでケーキ屋ごっこをしていました。Bさんが「冷蔵庫を作りたい」と言うと、先生は「どんな冷蔵庫？」とBさんのイメージしているものを聞き取ったり作り方を提案したりしています。先生が大きなプラスチックシートを出すと「いいね」と目を輝かせ、一緒にちょうどいい大きさに切って大型積み木に貼り、ケーキ屋のショーケースができあがりしました。「先生、お客さん呼びたい」と言い、ばら組に声を掛けに行くと、まるでクラス全員が来たかのような大人数のお客さんが来ました。お客さんにケーキを振る舞って、片付けになる頃、Cさんが一言、「すごいたくさん来て疲れちゃった」と言っていました。しかし、その顔はとても嬉しそうで満足そうな表情をしていました。年長ゆり組では、友達と協力して遊びを進めること、より本物らしく作ったり動いたりすることを楽しんでいました。

ごっこ遊びでは、創造力や想像力、社会性、共同性などたくさんの力が育つと考えられ、それらは小学校以降の学習や生活にもつながると考えています。湯島幼稚園では、子どもたちが自ら関わりたいと思う魅力的な環境を工夫し、夢中になってごっこ遊びを楽しめるように援助していききたいと考えています。



お熱ありますか？(もも組)



いらっしやいませ
ケーキはいりますか？
(ゆり組)

出発しまーす！
(ばら組)

